



市民の声を市政に反映

# 杉森ひろゆき

市議会議員ニュース

杉森弘之後援会広報委員会発行  
**758号** 2019年5月14日  
 〒300-1235 牛久市刈谷町1-41-8  
 TEL・Fax：870-0335  
 携帯：090-5587-7693  
 Mail：sugimori@max.hi-ho.ne.jp

## 非正規の処遇格差は深刻

常勤化も積極的に

### 第1回定例会一般質問 ③-B

杉森議員は3月6日、牛久市議会第1回定例会で、①東海村原子力施設事故時の対応、②子どもの生命と権利を守るために、③非正規雇用職員の処遇改善について、一般質問しました。今号では③のBを掲載します。

### 非正規は夏季休暇なし

【杉森議員の質問】非正規雇用職員の休暇制度、例えば夏季休暇、忌引き、病気休暇などはどのような状況でしょうか。それらは有給でしょうか。

【総務部長の答弁】会計年度任用職員に付与する休暇については、大きく分けて、法令等により必ず付与しなければならない休暇、国の非常勤職員との均衡から付与すべき休暇、常勤職員との均衡から検討すべき休暇がありますが、国の非常勤職員に付与される休暇を基本としつつ、常勤職員との均衡から検討すべき休暇については、個別に検討していきたいと考えています。夏季休暇については現在、非常勤職員にはありません。忌引きについては、常勤職員と同様、有給になっています。

### 年齢制限は撤廃を

【杉森議員の質問】常勤職員の大量の定年退職を控え、常勤職員募集の強化は切実な問題ですが、非正規雇用職員の常勤職員への採用は、業務能力の上でも要員数確保の上でも大変有効ではないかと考えます。一方で、この間、長期に渡り大量の非正規雇用職員を雇用してきた中で、非正規雇用職員で常勤職員への採用を希望しても、**年齢制限**で応募でき

ない等の実態もあると聞いています。

低い世代の人数が極端に少ないという現状は理解できますが、年齢で排除するというのは不適切かと思えます。**総務省マニュアル**においても、「**年齢制限を設けることはできない**」としています。非正規雇用職員の正規雇用化の促進の経過と今後について、年齢制限の現状、年間目標数等について伺います。

【総務部長の答弁】地方公務員法では、職員の採用に当たって、平等取扱いの原則、成績主義の原則などが定められており、受験の資格要件について、職務遂行上必要であって、最小かつ適当な限度の客観的かつ画一的な要件を定めるものとするところから、**現在勤務する職員のみを対象とする採用試験は実施していません。**

現在非常勤として勤務する職員が常勤職員となるためには、受験資格に合致する採用試験に合格することが必要となります。今年度実施しました職員採用試験では、**公務員経験者を対象とする募集**では、**昨年度36歳**までとした年齢要件を、**今年度2回目には45歳まで拡大**し実施しています。また現在、牛久市の非常勤職員を常勤職員として採用する目標数などは、設けていません。

### 会計年度任用職員関係条例は

【杉森議員の質問】会計年度任用職員制度関係条例案の上程のスケジュールなど、見通しについて伺います。

【市長の答弁】会計年度任用職員に関する、条例の上程時期については、内容について十分に検討し、条例規則に関して制度設計を行い、職員組合と協議したうえで、**2019年第3回牛久市議会定例会に上程を予定**しています。

浪江

埼玉岩槻

避難

# 福島避難者への差別

「原発事故被害者 相双の会」会報より

Q 約3年前の一審の尋問の時、住居はいわき市にあり、夫の秀夫さんがさいたま市岩槻区に新居を購入して転居予定だと答えていますね。

A その年の12月ころに引っ越しをして、2017年の1月ころから本格的に居住をした。今でも、浜通り地域の近くに居たいという気持ちが強くて、なかなか、岩槻の家にはなじめていません。

## お金をもらって生活？

Q 岩槻に移ってからの差別的言動について、スポーツジムで他の会員から何と言われたんですか

A 「福島の方はお金をもらって生活できていいね。で、こんなスポーツジムに来てる。(自分たちは年金使ってまで通ってるのに、というようなニュアンス)」と。

## 放射能が移る？

新居に入居するにあたって、鍵の引き渡しの時、不動産業者からも「放射能が移るって言って悪かったな」と言われました。私たちが下に見て小ばかにしてるような感じ。

## 福島の方はわがまま？

Q 自宅の工事を行った業者からも何か言われましたか。

A 私が工事を指示したことはないのだが、「福島の方はわがままだな」と言われ、ポカンとしてしまった。

いまだにこういう差別があるんだな、ということを感じて、悲しかった。涙がドバっと出た。上記3つのうちでは、「わがままだな」と言われたのが一番こたえた。なぜ福島と言う言葉がでるのか分からなかったから。

別に福島人だと言ってるわけでも、服に書いてあるわけでもないのに…。

Q 放射能への不安について、野菜の産地な

どは、今でも気にされているのですか

A 福島、千葉、茨城、栃木、埼玉、群馬の野菜は買いたいとは思いません。スーパーでいつも産地を気にして買い物をしています。福島の果物が本当に好きでした。きゅうりにしてもトマトにしても福島産が好きでした。

## 国や県は信用できない

Q 除染も進んでいると思いますが、それでも、福島近隣の野菜や、近海の魚は気になるものでしょうか

A 土壌に放射能が降りそそいだし海に駄々洩れだから。多くの放射性物質を飛散させて、広範囲を汚染させた。そんなに簡単に除染できるとは思えない。国や県などの行政が安全だと言ってることについては、信用できない。基準値の設定が正しいのか、検査結果自体が正しいのか。非常に疑わしい。

Q 行政を信用できないと考える理由は、何かありますか

A 行政は嘘ばかり言っている。帰還政策に持っていこうとしているのが目に見えている。放射能あるのに帰れって言うのも嘘。実際多くの人が帰ってない。それで、野菜等が「安心だ安全だ」と言われても信用できない。

Q なぜ避難者は皆、放射能に恐怖を持っているのでしょうか

A 2011年3月12日の爆発したときに、なんで今ここにいられるの？という壮絶な恐怖を感じた。避難で津島にいたとき、消防隊の人が「爆発した」と言っていた。爆発ってなに？もしかしたら1Fのこと？ここから何キロ？と考えると怖かった。セシウム？ストロンチウム？とか、よくわからないけれど、色々な言葉が頭の中を駆け巡った。それで、自衛隊がフル装備で装甲車に乗ってきてびっくり。これはまずい、もう逃げるしかない、と思った。原発の近くに住んでいる方は、そのように、本当に怖い思いをした。そのような恐怖は、忘れられないと思います。